

ナガミヒナゲシについて

ページ番号1018951

更新日 令和6年4月26日

ナガミヒナゲシは、特定外来生物や生態系被害防止外来種には指定されていませんが、繁殖力の強い外来の植物です。アルカロイド性の有毒成分を有しているため、素手で茎を触ったり折ったりすると、手がかぶれるおそれがあります。

ナガミヒナゲシにご注意下さい

この植物はヨーロッパ地中海沿岸に分布するケシ科の植物で、4月頃から6月頃にかけてオレンジ色の花を咲かせます。特定外来生物や生態系被害防止外来種には指定されていませんが、繁殖力が非常に強く、アルカロイド性の有毒成分を有するために人体やアレロパシー活性が強いため付近の植物にも影響を及ぼす恐れがあります。



ナガミヒナゲシの花

ナガミヒナゲシを見つけたら

ナガミヒナゲシを見かけたら、直接触らないように気をつけてください。手がかぶれる恐れがあります。また、自宅や自己所有の敷地等にナガミヒナゲシが生育していた場合は、次の「駆除の方法」を参考に駆除にご協力をお願いします。

駆除の方法

- (1) 花が咲く前の駆除が効果的です。
- (2) 有毒成分を含んでいるため、直接触れることがないように軍手やゴム手袋を着用してください。
- (3) 可能な限り根っこから引き抜き、種子の飛散を防ぐために速やかに透明・半透明の袋に入れて、燃やせるごみの日に出してしてください。

※類似する在来種（ポピーなど）を育てている方もいますので、ご注意ください。

関連情報

[ナガミヒナゲシ（国立研究開発法人国立環境研究所侵入生物データベース）（外部リンク）](#) 

このページに関するお問い合わせ

生活環境部 環境政策課 環境政策係

〒197-8501 東京都福生市本町5

電話：042-551-1718